

草の根・人間の安全保障無償資金協力（トリニダード・トバゴ）

「トリニダード島災害対応能力強化計画」及び  
「マヤロ地区災害対応能力改善計画」合同署名式

3月17日、トリニダード・トバゴ共和国のポートオブスペインにおいて、「トリニダード島災害対応能力強化計画」及び「マヤロ地区災害対応能力改善計画」の合同署名式が開催されました。

「トリニダード島災害対応能力強化計画」はクロッパ―財団が、「マヤロ地区災害対応能力改善計画」はローズ財団が被供与団体となり、合計 454,385 米ドルの草の根無償資金を利用し、トリニダード島北東部に位置するマテロット及び同島南東部に位置するマヤロにおいて、災害時に地域のライフラインとなる教育・保健・コミュニティ施設の補強・改修を行い、避難所の整備とともに防災機器の供与，さらには住民に対する防災訓練を実施することにより、地域の災害対応能力を改善・強化するものです。

同式典には、岡田大使、マヤロ選出のパライ国会議員を初めとし、クロッパ―財団のラムチャンド理事、ローズ財団のベルグローブ代表他、メディアも含め約 40 名が出席しました。

岡田大使は、スピーチの中で、トリニダード・トバゴはカリブ地域において一人当たり GNI が高い国の一つで有り、2011年に我が国政府開発援助（ODA: Official Development Assistance）の対象国から卒業したものの、2014年に安倍総理が当地を訪問した際に表明したODA卒業国支援の方針に基づいて本件プロジェクトが実施されることに言及し、小島嶼国であるトリニダード・トバゴに対し今回、防災及び減災に繋がるこれら2つのプロジェクトを支援出来る事は喜ばしい事であると述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、引き続き防災等の面からトリニダード・トバゴに対する開発支援を実施していきたく考えています。

*For further information, please contact:  
Economic Affairs and Development Cooperation Section  
Embassy of Japan in Trinidad and Tobago  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 234  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp*

1. スピーチを行う岡田大使



2. 伝統曲「さくらさくら」の歌唱  
(Ms. Kalifa Mc Alister)



3. クロッパー財団との署名  
(Dr. Mark Thomas)



4. ローズ財団との署名  
(Mr. Sterling Belgrove)



5. 岡田大使と両財団署名者



6. 会場の様子



*For further information, please contact:  
Economic Affairs and Development Cooperation Section  
Embassy of Japan in Trinidad and Tobago  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 234  
E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)*